

業務連絡

2020年2月7日
JR東海労新幹線関西地本
編集 業務部 No.11

「新型コロナウイルス」に関する緊急申し入れ

マスコミ報道によると、中国湖北省武漢市政府は23日午前10時（日本時間午前11時）、新型コロナウイルスによる肺炎の感染拡大を防ぐために市外に向かう航空機や鉄道、市内の地下鉄やバスなどの公共交通機関の運行を一時停止した。

また、日本においても、新型コロナウイルスによる肺炎への懸念が広がる中、中国の旧暦の元日を祝う「春節祭」が24日から開催され、日本の空港会社でも水際対策が取られている。「春節祭」の期間中には、多くの訪日客が東海道新幹線を含む鉄道利用が見込まれる。そのような中、東海会社においても、各駅に消毒液の設置や乗務員・駅係員等へのマスク使用を認めるなど、予防策に努める必要があると考える。

以下、会社からの回答。

1. 会社は、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐ為に、対策を措置する必要があると考える。会社の見解を明らかにすること。

【会社回答】

新型コロナウイルス感染症本社対策本部を設置し、社内外の関係箇所と情報共有を行うと共に、社員への感染予防の注意喚起などを行っている。引き続き、国などから出される情報や要請に基づき、適切に対応していく。

2. 中国の「春節祭」期間中には、多数の訪日客が東海道新幹線を含め鉄道を利用されると予測できる。感染拡大を防ぐ為に各駅に消毒液を設置すること。

【会社回答】

新型コロナウイルスの国内外の感染状況を踏まえ、お客様に安心して当社の鉄道をご利用頂けるよう、1月31日以降準備でき次第、新幹線全駅及び在来線主要駅の改札の有人改札ブース及び出札カウンターに手指消毒用の消毒液を設置しており、2月5日以降はこれを在来線全有人駅（業務委託駅含む）に拡大している。

3. 乗務員や駅係員等、業務中にマスク使用を希望する社員には使用を認めるなど柔軟な対応をとること。

【会社回答】

社員に対して手洗い・うがい・咳エチケットの励行等を行っており、接客業務に当たる社員については、1月31日以降、マスク着用を希望する場合には、着用を認めることとしている。

4. 業務中に必要なマスクは、会社が責任を持って配布すること。

【会社回答】

マスクは各自で用意することを基本とするが、入手が困難である場合には、個別に管理者に相談されたい。

以上